

あいち農産物生産流通レポート

平成23年2月号

情報サロン		
・施設花き・果樹の重油使用量を最大7割削減する技術を開発 しました	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・キャベツの契約出荷の現状	(豊田加茂農林水産事務所)	2
東日本情報		
・農業算出額全国第2位奪還に向けて動き出した千葉県	(東京事務所)	3
西日本情報		
・2010年の農業総合試験場の10大成果	(農業総合試験場)	5
フラワーページ		
・2011フラワードームプレミアムあいち花フェスタ・ 名古屋国際蘭展を開催します	(園芸農産課)	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し		8
花 き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)		20
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年11月)		24
関連指数		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

施設花き・果樹の重油使用量を最大7割削減する技術を開発しました

研究の背景

平成17年から重油価格が高騰し、今は少し落ち着いていますが依然高止まり傾向にあり、施設が園芸農家の経営を圧迫しています。花き・果樹の施設栽培が盛んな本県にとっても、生産コストの低減や石油資源の有効活用、地球温暖化の防止につながる重油使用量の削減は重要な課題です。

このため農業総合試験場では、農林水産省の研究「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」に参加し、効率的な加温や温度管理技術の開発と体系化に取り組みました。

研究の成果

バラ、観葉植物、ミカン、イチジクの施設栽培について、新しい加温方法や効率的な温度管理技術の開発、省エネ資材や暖房方式の実用性・経済性の評価をしました。

それぞれの技術を組み合わせることで、収量や生産物の品質を低下させることなく、重油使用量を最大で7割削減できる技術を確立しました。主な成果は以下のとおりです。なお、()内の数値はそれぞれの技術による重油使用量の削減率です。

バラでは、時間帯により温度を変える技術(13%)を開発するとともに、栽培床の加温やヒートポンプの導入効果(64%)を明らかにしました。

観葉植物では、品目ごとの最適暖房温度を解明し、時間帯により温度を変える技術(36%)を開発しました。また温室内にチャンバー(小さなトンネル)を設置した局所的な加温による省エネ効果(35%)を明らかにしました。

ミカンでは、時間帯により温度を変える技術(6%)を開発するとともに、暖房機の排熱を回収する装置(7%)や三重被覆(15%)の省エネ効果、ヒートポンプの導入効果(68%)を明らかにしました。

イチジクでは、根域部分の被覆と被覆資材の下への温風ダクト設置による、根域局所加温技術(15%)を開発しました。(右写真)



イチジクの根域局所加温技術の様子

期待される効果

重油使用量の削減により生産コストが下がり、農家の所得が向上します。

また、石油資源の枯渇、温室効果ガスの排出などの問題にも対応できます。

なお、この研究成果をまとめた資料「園芸作物の省エネルギー栽培技術」は、農業総合試験場のホームページの「農業の新技术」でご覧いただくことができます。

(ホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/nososi/>)

キャベツの契約出荷の現状

豊田加茂農林水産事務所管内では、2つの農業生産法人で加工仕向けのキャベツが生産され、農協を通じて経済連に契約出荷がされています。

2法人とも稲作を中心とした経営で、耕作面積の増加に伴い転作作物の多様化を図るため、4年ほど前からキャベツの生産に取り組みました。気象条件等を考慮して転作に向けた作型である1～3月収穫の寒玉キャベツを出荷しています。

管内でのキャベツの作付面積は他の野菜よりも少なく、野菜価格安定事業等の対象産地にはなっていません。そのため、契約出荷を行うことで安定した売り上げを確保しています。

加工仕向け品の契約出荷は、青果仕向けに比べて若干単価が安いというデメリットがありますが、出荷前に単価を契約するため、安定した単価で出荷できることや、収益があらかじめ計算できること、鉄製の通いコンテナを使うことで出荷コストが低減できること等のメリットがあり、法人には有利な生産方法と言えます。

キャベツの作付面積は毎年増加し、出荷量も比例して増加していることから、今後も取扱量の拡大が期待できそうです。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
作付面積 (a)	120	220	430	430
出荷数量 (t)	45	106	186	200



写真1 収穫風景
作業車を利用し効率的に収穫



写真2 出荷荷姿
鉄製の通いコンテナを使い出荷コストを低減

農業算出額全国第2位奪還に向けて動き出した千葉県

千葉県の農業は首都圏の台所として食料供給の大きな役割を担いながら、戦後大きな発展を遂げました。しかし、近年では担い手の高齢化による生産量の低下、販売価格の低迷などにより農業算出額は減少し、平成6年以来堅持してきた農業産出額全国第2位（第1位：北海道）の座を平成18年以降は茨城県に明け渡し第3位となっています。

千葉県農林水産部では、平成23年度から始まる振興計画（平成23～25年）で「農業算出額全国2位」を大きなスローガンに掲げ、園芸、農産、畜産、森林・林業、水産、担い手育成及び販売促進に関わる部門別計画を策定し、事業実施に向けて取り組むこととしています。

今回はこれら部門別計画のうち、販売促進計画の概要について紹介します。

販売促進計画の概要

< 3年後の目標 >

- 1 県産農林水産物を選択する消費者の拡大
県産農林水産物を選択する県民の割合 76.5%（平成22年度世論調査より）
割合の拡大（数値目標なし）
- 2 県産農林水産物の輸出促進
約43億円（平成21年）輸出 50億円の輸出

< 主な取り組み >

- 1 「食の宝庫ちば」のファンづくりの推進
 - ア 県産農林水産物の魅力発信
知事のトップセールスを始め、テレビや新聞等のメディアを活用した情報発信
県産品情報を掲載したポータルサイトによる農林水産物の販売促進
 - イ 生産者と消費者の交流による県産品の理解促進
「ちばの直売所フェア」や「夏休み『千葉の海』丸ごと満喫キャンペーン」を通じた販売活動の支援
都市と農山漁村の交流促進のための観光・体験農園等に対する施設整備支援
交流イベント開催およびグリーンツーリズム関連情報の発信、グリーンツーリズムの体験指導者の育成
 - ウ 食育活動（学校給食）等による「千産千消」（ ）の推進
食育ボランティア、おさかな普及員、食育サポート企業に対する支援の充実と官民一体となった食育活動の推進
学校給食関係者に対する「千産千消」の啓発活動を通じた地場産品の利用推進と農林水産業や食文化に対する理解促進

（ ）千産千消：千葉県産の農林水産物を県内で消費していく「地産地消」の取り組み。「地」の部分に同音で千葉を意味する「千」を使って「千産千消」としている。

2 流通体制の強化・販路拡大

ア 卸売業者と連携したセールスプロモーションの実施

「農林水産物販売促進月間」の設定と生産者団体と連携した販売プロモーション活動の実施

主に首都圏のスーパーマーケット、百貨店などでおこなう「千葉県フェア」の計画的な開催支援と、消費者に対する県産農産物のPR

首都圏で卸売業者と連携した流通経路の確保・拡大と消費者・実需者ニーズに即した産地づくりを目的とした販売促進活動の展開

イ 商談会の開催等による販路拡大支援

県主催の商談会の開催による生産者と実需者の情報交換（商談）推進

全国規模の商談会での千葉県コーナーの設置と販路拡大

3 売れるものづくりへの多様な支援

ア 「県産農林水産物顔づくり」ブランド化の推進

地域が主体的に売れるものづくりに取り組む活動に対する集中的な支援

ブランド化に取り組む産地間や異業種との交流による生産者の意識醸成

イ 6次産業化へのチャレンジを支援

生産者自らが取り組む販売促進活動への支援

農林漁業者による6次産業化の取り組みに必要な機械施設等への支援

4 新たな販路開拓を目指す輸出の促進

県内商談会を通じた商社や日本駐在バイヤーとのマッチング

専門家による輸出業務の支援

海外マーケット等の情報収集

生産者団体による海外調査・販売促進活動・輸出環境整備に対する支援

知的財産権の保護のための商標登録取得支援

海外展示会等でのPR、海外小売店における販売コーナー設置や販促用カタログなど資材の作成

千葉県は「販売促進」を農林水産業振興の重要な施策ととらえ、今後、首都圏および海外を重視した流通体制づくりと販路拡大をすすめていく方針です。都市近郊に位置する千葉県は園芸県であることなど本県と類似した特色をもっており、今後は千葉県の「販売促進活動」の行方に注目する必要があるようです。

2010年の農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善に役立つ新しい品種や高度な技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の方々に知っていただき、理解を深めてもらうことを目的として、平成16年から毎年、研究成果の中で特に優れたものを10課題選定し、10大成果として公表しています。

このたび、2010年の「10大成果」を選定しましたので、紹介します。

1 選定結果

第1位	夏秋系黄色一輪ギク新品種「愛知夏黄2号」を開発
第2位	新系統豚「アイリスL3」を開発
第3位	酒造好適米「愛知酒117号」を開発
第4位	LEDを活用した花きの開花および生育の調節技術を開発
第5位	カンキツ「蒲郡1号」を開発
第6位	大玉トマト袋培地栽培の夏期高温対策技術を開発
第7位	鶏に絶食ストレスを与えない産卵調整技術を開発
第8位	点滴施肥によるてん茶の長期多収・高品質技術を確立
第9位	環境に優しい酪農に貢献する「スクルー型浄化処理装置」を開発
第10位	自給粗飼料多給による乳牛育成管理技術を開発



第1位
「愛知夏黄2号」

2 選定方法

(1) 選定の手順

選定委員が「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の観点から各課題に5段階で評価点を付け、得点の高い順に10課題を選定しました。

(2) 選定委員

山内 章	名古屋大学農学国際教育協力研究センター長
油田 淑子	全国消費生活相談員協会監事
山元 修治	日本放送協会名古屋放送局制作部長
山上 圭吾	ミツカングループ本社中央研究所長
伊藤 清一	愛知県農業総合試験場長

3 今年の特徴・傾向

- ・昨夏の記録的な猛暑でも安定した出荷を可能にした夏秋系一輪ギクの新品種「愛知夏黄2号」が第1位に選ばれたのを始め高温対策技術が選ばれました。
- ・上位には、新品種・新系統の開発が多く選ばれました。
- ・技術開発では、省エネや効率的な施肥技術など環境に配慮した技術が多く選ばれました。

4 公表

10大成果の詳細は、農業総合試験場のホームページでご覧いただけます。
(ホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/nososi/>)

2011フラワードームプレミアム あいち花フェスタ・名古屋国際蘭展を開催します

花のイベント「フラワードーム」は、今年で12回目の開催となります。

来年春には、新たな「花と緑のイベント」としてリニューアルを予定していることから、今回は、これまでの成果の集大成と、次へのステップアップとなるような企画が登場します。例えば、各部門で過去の受賞者を招待したコンテストを実施し、ハイレベルな展示が行われたり、来場者による人気投票をコンテストに導入し、一般消費者の視点をより重視しております。また、来場者参加型の体験コーナーも増やし、内容をより充実しています。

以下に、2011フラワードームプレミアムの見どころをご紹介します。

「特別展示」

- ・ 幸せを運ぶ！胡蝶蘭

来場者の方に幸せが訪れることを願い、胡蝶蘭の原種から栽培品種まで多様な品種の展示を行います。

- ・ 花の動物園 いきものに似た植物！大集合

その形から動物を連想させる植物を一同に集めました。



「主催者展示」

- ・ 空飛ぶタネ

広い範囲に仲間をふやそうと見事に空を飛ぶタネを紹介します。

- ・ モリゾー・キッコロの庭

ドームの中に緑深い自然豊かな森を再現します。

- ・ フラワーカーペット

“花”をテーマに公募された絵画を、ドームの床一面に拡大し、バラの花びら等を使い色をつけていきます。

「ステージイベント」

一流講師による「園芸教室」、花の生産者による花の紹介など、毎日多彩なステージがあります。

「体験コーナー」

フラワーデザイン、寄せ植え、苔玉づくり、押し花アート等で、花を楽しむ体験ができます。

今回は園芸相談コーナーも新設し、来場者が花に親しみ、楽しみ、学べるイベントになっています。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

詳しくはこちらまで <http://event.chunichi.co.jp/flowerdome/>



フラワードーム 2010(昨年)の会場



花生産者によるステージイベント

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	537	255 (47%)	284	242	和歌山 (15%) 鳥取 (13%)
23年見通し	530	—	270	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>田原市、豊橋市を中心に入荷。 愛知は、昨年11月から12月にかけて好天が続き生育は順調。 大きな産地の鳥取が豪雪の影響で不作傾向で、他の産地も先月からの冷え込みで出荷量は減少している。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>			<p>若い人を中心に消費量が伸びている品目で長崎、徳島等の新しい産地も出ている。 花蕾が細かいもの、軸が太く空洞のないもの、玉のボリュームがあるものが好まれる。 産地には、気温が低下すると出荷量が減るため安定的な出荷を、春先にかけては品質劣化が起りやすいため、適時出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

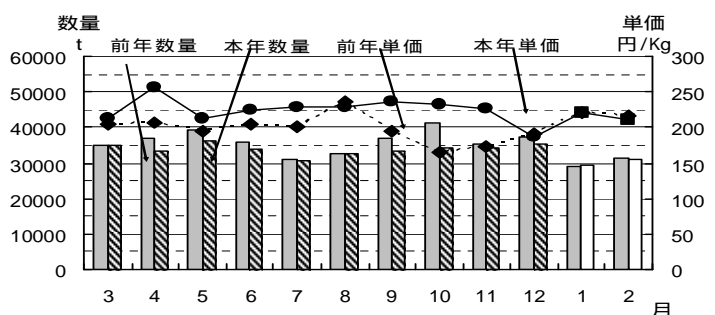
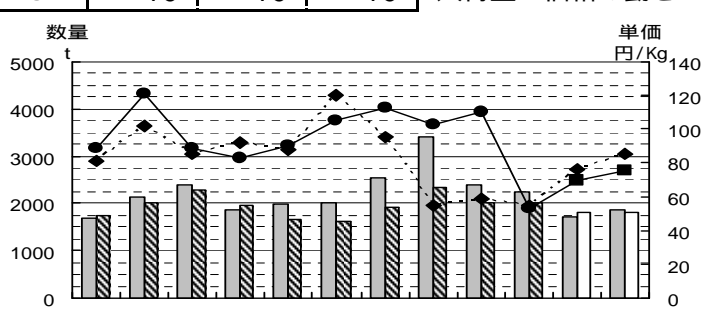
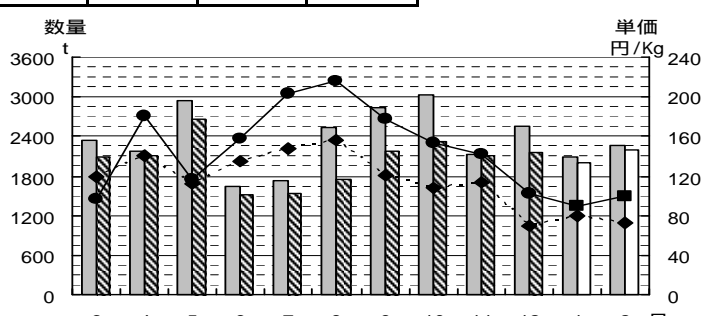
	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	2,167	822 (37%)	276	253	埼玉 (19%) 米国 (12%) 香川 (10%)
23年見通し	2,200	900	270	250	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知が入荷の約4割を占め、次いで埼玉が続く。愛知は低温、干ばつの影響で生育に遅れが見られるが、2月には回復してくる見込み、埼玉は終盤となっているが、低温・干ばつの影響があり小玉傾向。 香川も低温・干ばつで生育が停滞しているが、2月には回復してくる見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材として消費者の認知度も高く、量販店にとっても年間を通して目玉商品となる商材である。 本県産は数量もあり、品質面でも高い評価を受けているので、今後とも安定した数量の出荷と品質維持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月17日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	33,680	206	217	202	197	愛知 30%
	19年	32,632	181	181	177	186	北海道 19%
	20年	34,090	206	196	205	217	鹿児島 7%
	21年	34,624	179	186	178	171	静岡 6%
	22年	31,242	217	217	221	212	
	5カ年平均	33,254	198	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	31,100	211	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と北海道が中心。葉もの、果菜を中心に、低温による生育遅れ、入荷量の減少が懸念される。北海道が中心となる土ものは貯蔵品の計画入荷が続き、輸入量も増える見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
							
だいこん	18年	1,857	115	121	114	108	静岡 56%
	19年	1,786	52	43	56	62	徳島 21%
	20年	1,984	71	63	72	79	愛知 7%
	21年	2,068	63	67	58	66	鹿児島 5%
	22年	1,867	85	85	88	81	
	5カ年平均	1,912	77	76	77	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,800	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は静岡、徳島中心の出荷となる。秋冬産地から春産地への移行期で、入荷量は一時的に減少。数年来単価安が続き、作付面積は減少している。気温の低下とともに、厳しい販売環境が予想される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
							
にんじん	18年	2,249	126	125	132	123	愛知 86%
	19年	2,917	48	46	46	55	鹿児島 12%
	20年	2,834	100	86	103	112	千葉 2%
	21年	2,387	95	96	93	98	熊本 1%
	22年	2,260	72	71	71	75	
	5カ年平均	2,529	87	83	87	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,200	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知が中心で他に鹿児島、千葉。愛知は生育不良からも回復し順調な出荷を見込む。秋播きの鹿児島は天候も良く順調に生育、作付面積も増やしており豊作傾向。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							

東京都中央卸売市場

1月21日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	118,078	231	243	232	214	千葉 17%
	19年	115,881	198	194	198	202	茨城 13%
	20年	123,759	234	226	231	244	北海道 10%
	21年	124,154	205	213	197	204	愛知 9%
	22年	116,832	241	235	248	241	(愛知産比率 9%)
	5カ年平均	119,741	222	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	115,000	245	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。関東産地の生育は概ね順調だが、西南暖地に干ばつや寒波の影響が見受けられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
だいこん	18年	11,342	122	133	112	117	神奈川 62%
	19年	11,227	54	48	55	63	千葉 29%
	20年	12,362	78	72	80	84	静岡 5%
	21年	12,120	68	73	64	66	徳島 2%
	22年	11,631	99	94	111	89	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	11,736	84	84	84	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	11,700	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。神奈川、千葉の各産地ともに年末からの寒波と干ばつで肥大が悪く平年よりL比率が高い。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	18年	6,737	136	140	134	134	千葉 77%
	19年	6,784	53	51	51	59	埼玉 11%
	20年	6,880	128	116	131	136	茨城 7%
	21年	6,930	113	120	107	111	鹿児島 1%
	22年	6,940	83	74	86	93	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	6,854	103	100	102	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,450	120	110	125	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き千葉、埼玉などの関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は年末からの寒波でやや停滞傾向。埼玉は生育初期の天候不良の影響が残り、生育不良や品質低下が見られる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	18年	3,247	72	74	71	68	愛知	49%
	19年	2,757	54	49	55	62	兵庫	27%
	20年	3,214	79	63	78	96	茨城	17%
	21年	2,780	79	77	78	83		
	22年	2,930	70	68	75	67		
	5ヵ年平均	2,986	71	66	72	76	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	2,800	70	70	70			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と兵庫、茨城中心。愛知は前年並みの出荷を見込む。以前は秋に終了する産地だった茨城の出荷期間が長くなってきており、作付面積も増やしている。冷え込み次第では需要は高まる。入荷量は前年をやや下回り、単価は前年並みとなる見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね2,000tから4,000tの間で推移し、単価は70円/kgから100円/kgの間で変動しています。</p>						
キャベツ	18年	3,118	93	114	95	69	愛知	94%
	19年	3,010	51	50	54	47	熊本	2%
	20年	3,118	95	77	101	108	鹿児島	2%
	21年	3,236	86	86	80	92		
	22年	2,910	111	108	114	111		
	5ヵ年平均	3,078	87	87	89	85	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	3,000	90	90	90			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、鹿児島が兵庫が若干ある。愛知の春系は出荷のピークを迎える。干ばつの影響でやや小玉傾向。好天候が続けば、安定した入荷が続く見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は概ね3,000tから4,500tの間で推移し、単価は70円/kgから120円/kgの間で変動しています。</p>						
ほうろくそ	18年	602	300	405	304	181	愛知	86%
	19年	493	264	356	198	238	徳島	6%
	20年	457	387	364	394	408	茨城	3%
	21年	527	241	267	199	268	群馬	2%
	22年	471	401	441	387	360		
	5ヵ年平均	510	315	366	293	284	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	450	360	400	350			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知中心で不足を補う量が福島、徳島等から入る。作付面積は前年並みだが、生育は低温の影響で遅れており、中旬から大きな数量が出る見込み。価格は中下旬にかけて下がる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は概ね200tから400tの間で推移し、単価は300円/kgから600円/kgの間で変動しています。9月の単価は375円/kgと記載されています。</p>						

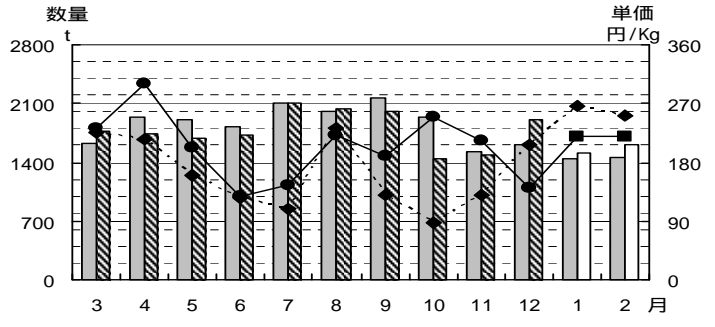
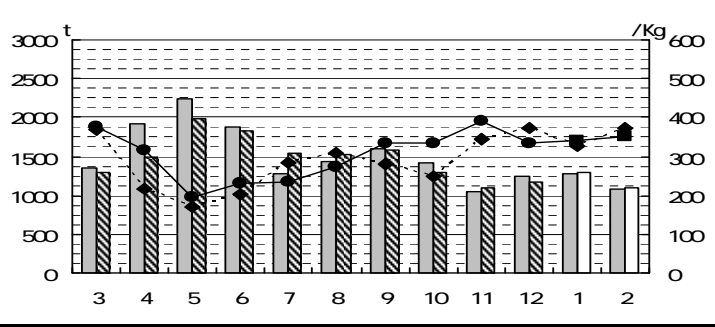
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	18年	11,570	62	65	62	57	茨城 66%
	19年	9,847	29	24	27	41	群馬 19%
	20年	11,692	63	46	62	85	兵庫 10%
	21年	11,563	62	64	55	69	埼玉 3%
	22年	12,369	55	48	68	46	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	11,408	55	50	56	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	12,120	55	50	55	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と群馬からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調であるが、小玉傾向。群馬の生育もやや小玉傾向。兵庫の生育は低温・干ばつの影響で小玉傾向。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
キャベツ	18年	13,060	96	114	96	75	愛知 63%
	19年	12,716	54	53	56	53	千葉 16%
	20年	13,094	98	81	103	114	神奈川 16%
	21年	14,368	88	86	81	100	茨城 1%
	22年	13,475	116	114	118	116	(愛知産比率 63%)
	5ヵ年平均	13,343	91	90	91	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	13,200	100	95	100	105		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は寒波や干ばつの影響で小玉傾向。千葉、神奈川も寒波や干ばつで小玉傾向。千葉は終盤を向かえる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
ほうろくそ	18年	2,394	322	417	340	207	群馬 26%
	19年	1,900	299	316	275	308	茨城 23%
	20年	1,852	389	429	365	375	埼玉 22%
	21年	1,900	289	286	265	332	千葉 20%
	22年	1,756	425	421	479	366	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,960	342	375	342	311	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	1,800	410	415	410	405		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が大部分を占める。茨城、埼玉の生育は寒波の影響で一部がやや遅れぎみである。群馬、千葉の生育も概ね同様である。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	849	353	365	346	341	愛知 28%
	19年	901	241	233	239	254	大分 18%
	20年	987	404	353	407	454	静岡 13%
	21年	999	290	306	279	283	群馬 8%
	22年	980	378	352	425	355	
	5ヵ年平均	943	334	322	341	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	950	350	350	350	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知の長ねぎと、静岡、大分、群馬の白ねぎ。大分、静岡の生育・出荷は順調だが、鹿児島、鳥取は積雪のために入荷が不安定になる見込み。愛知の長ねぎは量が少なく、不安定な出荷となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下まわる見込み。					
しそ	18年	1,689	228	280	220	175	兵庫 44%
	19年	1,634	218	243	222	176	静岡 16%
	20年	1,505	252	229	243	287	愛知 14%
	21年	1,737	181	190	173	181	熊本 12%
	22年	1,463	252	251	255	248	
	5ヵ年平均	1,605	225	238	221	211	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,600	220	230	230	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫の淡路中心で、熊本、静岡、が出货量増やしてくる。愛知も若干ある。極寒期で量はなく、市場の引きも弱い。単価が高ければ出货量増える。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
きゅうり	18年	1,148	391	405	354	417	愛知 45%
	19年	1,288	314	324	260	373	宮崎 22%
	20年	2,316	221	166	233	276	高知 19%
	21年	1,197	314	369	263	327	鹿児島 13%
	22年	1,076	372	371	355	395	
	5ヵ年平均	1,405	305	300	282	344	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,100	350	400	300	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知と、宮崎、高知、鹿児島、の西南暖地中心。上旬は節分の恵方巻きを見込んで出荷量が増え、高単価が見込まれるが、中下旬には落ち着き、単価も下がってくる見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

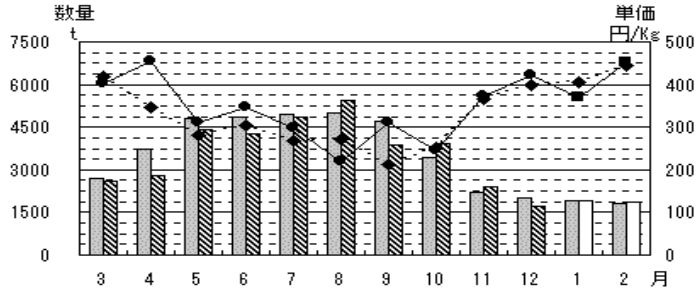
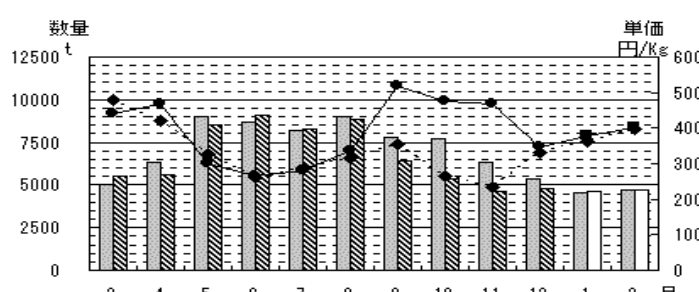
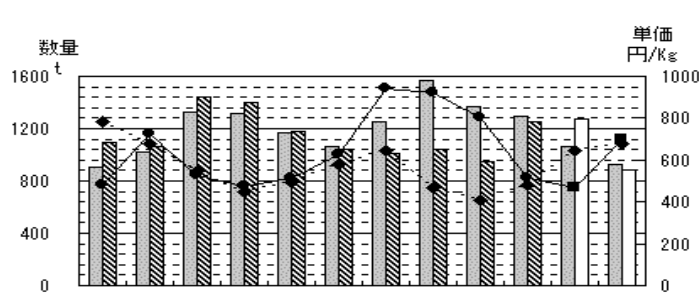
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	4,242	298	302	288	302	千葉 38%
	19年	4,583	145	139	144	154	埼玉 32%
	20年	4,931	283	264	272	320	茨城 9%
	21年	4,891	173	190	154	175	群馬 7%
	22年	4,389	333	279	414	304	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,607	244	233	251	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,600	270	260	275	275	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は回復傾向にあり、順調な状況である。埼玉の生育は寒波の影響から停滞気味である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
しそ	18年	7,177	228	292	221	166	静岡 34%
	19年	7,024	195	219	200	155	香川 13%
	20年	7,086	231	208	224	268	兵庫 10%
	21年	7,859	174	187	160	177	茨城 8%
	22年	6,764	244	246	247	237	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	7,182	213	230	209	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,700	230	240	230	220	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き静岡と香川中心の入荷となる。静岡の生育は低温と干ばつの影響で小玉傾向だが、徐々に回復する見込み。香川、兵庫は現在、干ばつと寒波の影響で生育が悪いが回復する見込み。 入荷量は前年並み、価格も高かった前年をやや下回る見込み。					
きゅうり	18年	4,604	417	443	370	444	宮崎 26%
	19年	4,909	330	340	277	391	千葉 20%
	20年	5,120	400	578	383	284	高知 18%
	21年	4,955	350	413	306	340	群馬 13%
	22年	4,618	397	378	394	434	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,841	378	432	345	376	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,600	400	420	370	410	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。宮崎は天候不順の影響で草勢がやや低下気味。千葉、高知の生育は概ね順調である。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	478	367	372	364	363	愛知 48%
	19年	576	339	375	322	313	熊本 47%
	20年	469	409	494	436	340	鹿児島 3%
	21年	539	319	364	296	298	高知 2%
	22年	474	384	400	383	369	
す	5カ年平均	507	361	399	357	335	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	460	370	360	370	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知の干両と熊本の長なす。曇天と低温が続いたため、出荷は減少傾向。低温により需要は落ち込み、販売環境は苦しくなる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト	18年	967	305	297	309	311	熊本 48%
	19年	940	352	338	342	387	愛知 30%
	20年	859	334	336	349	318	三重 14%
	21年	884	310	319	302	310	岐阜 6%
	22年	866	352	377	340	338	
ト	5カ年平均	903	330	332	328	333	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	850	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本、三重中心で、愛知は低温の影響で出荷は減少する。春系は量が少ない。熊本は作付面積の減少で少なめの入荷。愛知・三重は前年並みを見込む。低温で消費が落ち込み販売環境は厳しい。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>					
ミ	18年	209	615	614	600	631	熊本 56%
	19年	190	764	784	751	750	愛知 32%
	20年	215	716	711	760	681	和歌山 11%
	21年	206	689	736	668	662	
	22年	244	685	707	659	688	
ト	5カ年平均	213	692	709	686	681	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	220	650	700	600	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、愛知中心。厳寒期で冷え込みも厳しいため、重油の単価次第では加温控えによる入荷量の減少もある。病害虫の発生はみられず、作付は前年並みで、小玉傾向で数量はやや少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	2,222	403	400	407	402	高知 59%
	19年	2,308	405	439	384	389	福岡 17%
	20年	2,151	439	514	438	385	熊本 7%
	21年	2,240	378	442	341	358	佐賀 7%
	22年	1,825	445	490	437	404	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	2,149	413	455	400	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,850	440	450	440	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知の生育は寒波により1週間程度遅れている。福岡、佐賀は寒波による日照不足と低温の影響で草勢が低下しており、回復は中旬以降となる見込み。入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格はわずかに前年を下回る見込み。</p>					
							
ト マ ト	18年	5,044	301	296	301	306	熊本 37%
	19年	4,754	381	358	379	421	愛知 12%
	20年	4,882	355	366	360	341	栃木 12%
	21年	4,954	359	369	344	366	茨城 7%
	22年	4,722	398	412	391	389	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	4,871	358	359	354	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,700	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。熊本の生育は一部に遅れも見られるが、ほぼ順調。愛知の生育は概ね順調で、栃木は一部に着色不良が見られる。丸玉が減少しファーストトマトの入荷が徐々に増加してくる。入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	18年	812	612	606	609	625	熊本 34%
	19年	796	732	763	709	718	愛知 24%
	20年	845	715	746	748	651	宮崎 15%
	21年	875	670	756	628	619	千葉 10%
	22年	929	680	693	659	692	(愛知産比率 24%)
	5ヵ年平均	851	682	713	670	661	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	880	700	720	690	690	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本、愛知とも寒波により生育と着色は遅れている。2月には回復しそうである。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
							

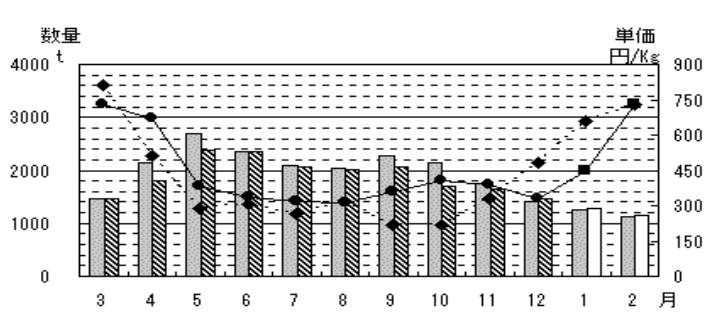
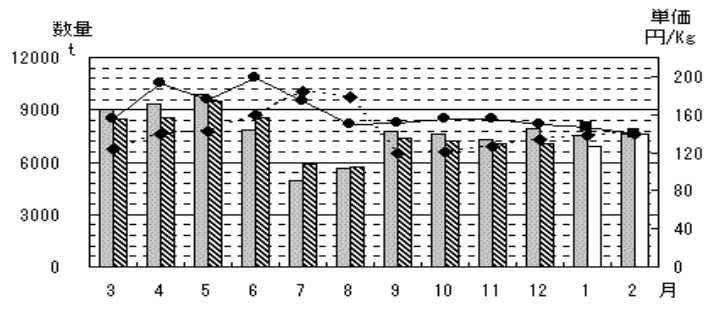
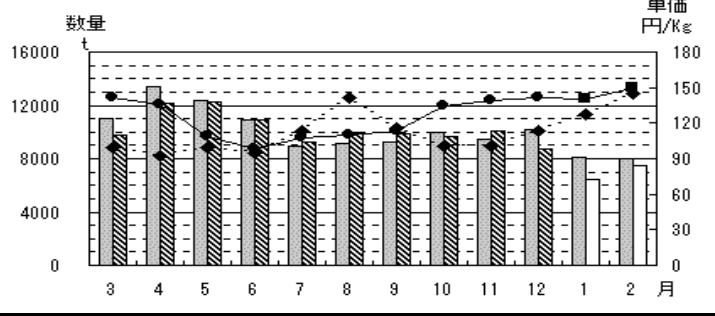
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	401	706	766	678	666	鹿児島 48%
	19年	411	640	764	584	578	宮崎 35%
	20年	341	805	729	839	849	高知 17%
	21年	363	695	816	665	608	
	22年	346	723	775	694	701	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	372	711	770	687	675	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	350	700	720	680	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地中心。日照時間が減ることから入荷量減らし、厳寒期で最も加温を必要とする時期であるため、重油の単価次第では加温控えによる減少もある。前半は少量で高単価となる見込み。 入荷量は前年並みとなり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばいしょ	18年	3,707	129	128	131	128	北海道 48%
	19年	3,276	120	120	116	124	鹿児島 36%
	20年	3,640	107	98	104	122	長崎 16%
	21年	3,471	105	115	104	97	
	22年	2,894	136	126	137	151	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,398	119	117	118	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,000	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心で、鹿児島、長崎。北海道は夏場の干ばつの影響で小玉傾向、数量も少なくL玉中心。九州産地は生育順調で、前年並みの入荷量を見こむ。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	4,701	92	94	87	98	北海道 90%
	19年	4,219	95	95	95	95	アメリカ 5%
	20年	5,150	74	74	75	74	静岡 5%
	21年	5,947	68	66	75	64	愛知 0%
	22年	4,641	115	122	118	102	
ね	5カ年平均	4,932	87	89	89	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,500	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心で、計画出荷が春まで続く。他に米国、静岡、中国。北海道の不作の影響で輸入もの、特にニュージーランドが増えてくる。全体的に小玉で、高単価となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	1,168	752	830	728	689	宮崎 42%
	19年	1,291	679	788	615	621	茨城 23%
	20年	1,170	870	875	890	847	高知 19%
	21年	1,155	733	845	709	643	鹿児島 15%
	22年	1,134	732	768	703	723	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,184	752	821	727	703	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,150	730	740	720	730	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。宮崎の生育は低温の影響で玉伸びが良くない。下旬以降に増加する見込み。茨城は作付面積も増え、生育も順調。高知の生育は回復傾向にあり今後増加する見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年並みの見込み。					
ばれいしょ	18年	7,470	122	123	122	120	北海道 59%
	19年	7,506	114	115	115	111	鹿児島 22%
	20年	9,348	96	93	96	101	長崎 19%
	21年	7,982	108	109	108	108	(愛知産比率 -%)
	22年	7,624	140	134	138	155	(愛知産比率 -%)
いしょ	5カ年平均	7,986	115	114	115	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,600	140	135	145	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。北海道は夏場の高温の影響から不作で小玉傾向。鹿児島は天候不良で掘取り作業が遅れているが、作柄は良好。長崎は肥大良好で2月上旬には終了の見込み。入荷量は前年並み、価格は高かった前年並みの見込み。					
たまねぎ	18年	8,664	104	103	103	105	北海道 77%
	19年	8,589	104	102	105	106	米国 9%
	20年	10,168	85	83	85	87	静岡 7%
	21年	9,457	87	84	90	88	(愛知産比率 0%)
	22年	8,051	145	143	145	150	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	8,986	103	101	104	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,500	150	150	155	145	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道は夏場の天候不良の影響で不作のため少なく、小玉傾向であるが品質は良好である。静岡は低温の影響で肥大が遅れていたが、回復しつつある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	13,025	304	286	323	307	フィリピン 17%
	19年	10,419	370	364	371	379	青森 15%
	20年	12,505	292	277	299	301	愛媛 14%
	21年	10,922	315	313	316	316	愛知 14%
	22年	10,825	293	291	287	305	
	5カ年平均	11,539	313	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,000	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順による花落ち・着果不良と、梅雨明け後の高温の影響で、果樹を中心に入荷は平年になく少量となる見込み。中心となるかんきつも裏年で前年の1割減と数量不足。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
か ん き つ	18年	6,301	191	193	197	186	愛媛 25%
	19年	4,712	269	271	265	276	静岡 24%
	20年	6,675	172	168	177	175	愛知 17%
	21年	4,875	228	236	234	215	和歌山 9%
	22年	5,422	191	198	186	195	
	5カ年平均	5,597	206	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,700	270	270	250	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛媛、静岡、愛知中心。みかんは貯蔵もの中心で、裏年と夏場の高温から量は少ない。いよかんの入荷量は平年より1割以上減少、しらぬいは量増える見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
い ち ご	18年	1,200	1,223	1,362	1,239	1,087	愛知 53%
	19年	1,126	1,195	1,269	1,121	1,203	熊本 23%
	20年	1,283	1,024	1,275	1,065	850	鹿児島 12%
	21年	1,194	1,003	1,101	957	956	三重 5%
	22年	1,099	1,027	1,038	1,004	1,045	
	5カ年平均	1,180	1,093	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,100	1,050	1,100	1,050	1,000	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に熊本。愛知は上旬に2番果のピークを迎えるが、生育のばらつきが大きいので、出荷の集中はない見込み。天候の回復次第では、入荷量は増える見込み。下旬に3番果が出る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	43,215	231	309	347	343	愛媛 19%
	19年	37,958	405	476	374	441	青森 16%
	20年	43,899	313	296	236	316	静岡 15%
	21年	39,363	335	330	339	335	フィリピン 9%
	22年	41,283	312	297	316	332	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	41,144	317	-	-	-	前年及び本年の
	23年見通し	39,000	340	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「りんご」、「いちご」中心に「いよかん」「不知火」など晩柑類の入荷が本格化する。「いよかん」は裏年に加え小玉傾向で入荷は少なく、低温による果皮障害が目立つ。みかん類は静岡産の終了により減少する。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
りんご	18年	6,632	230	224	232	234	青森 94%
	19年	5,852	261	271	257	259	秋田 3%
	20年	6,470	248	245	251	248	岩手 1%
	21年	7,537	201	198	202	205	長野 1%
	22年	6,886	224	220	226	231	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	6,675	231	230	232	234	前年及び本年の
	23年見通し	7,000	240	240	240	240	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に入荷する。産地在庫は前年よりやや多い。果皮の着色程度は前年よりやや落ちるが、大玉傾向で食味も良好である。入荷量は前年並みで、価格は前年かなり上回る見込み。</p>					
いちご	18年	4,521	1,246	1,308	1,298	1,127	栃木 31%
	19年	4,184	1,247	1,271	1,201	1,263	福岡 21%
	20年	4,952	1,061	1,279	1,092	889	佐賀 16%
	21年	4,314	1,103	1,190	1,059	1,065	茨城 11%
	22年	4,331	1,124	1,058	1,145	1,197	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	4,460	1,154	1,223	1,158	1,101	前年及び本年の
	23年見通し	4,300	1,100	1,200	1,100	1,050	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に佐賀、福岡、茨城などから入荷する。1月の全国的な寒波の影響で各産地ともに生育遅れがみられる。低温期が続くため入荷量の急増はないが、果房の切り替わり時期には入荷が少なくなる予想。入荷量は前年並と見込まれ、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	2,396	64	
		19年	2,323	61	
		20年	2,442	60	
		21年	2,247	48	
		22年	1,979	54	
	5ヶ年平均	2,277	58		
23年見通し	2,200	55			
概要	愛知、沖縄、三重を中心に入荷。作付は前年並み。白菊は低温が続いても荷動きにはあまり影響がなく、順調な出荷を見込む。気温が急に上昇しない限り、数量は少なめで価格は安定する見込み。				
小 ぎ	実績	18年	1,889	29	
		19年	1,440	41	
		20年	1,533	32	
		21年	1,234	35	
		22年	1,117	31	
	5ヶ年平均	1,442	33		
23年見通し	1,200	35			
概要	沖縄を中心に入荷。作付面積は前年に比べてやや少なく、黄4割、白、赤各3割の割合で生育。低温の影響で前月後半分の出荷が今月にずれ込むことも予想される。需要が少ない時期だが価格は安定する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	18年	1,156	43	
		19年	1,270	39	
		20年	1,190	44	
		21年	1,204	35	
		22年	1,060	38	
	5ヶ年平均	1,176	40		
23年見通し	1,200	40			
概要	愛知、和歌山、長野を中心に入荷。夏の高温で生育は全体的に遅れ気味だったが回復し、今月は順調な出荷が見込まれる。上中旬はプライダル需要、下旬は卒業式等の需要堅調な動きが予想される。				
か す み	実績	18年	243	59	
		19年	273	52	
		20年	198	91	
		21年	274	43	
		22年	191	63	
	5ヶ年平均	236	60		
23年見通し	190	65			
概要	和歌山、高知、熊本から入荷。入荷量は前年に比べて少なくなる見込み。月の前半は業務需要が中心だが、後半は一般消費者の需要も増えて、引き合い強く、堅調に推移する見込み。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	18年	319	191	
		19年	310	186	
		20年	336	196	
		21年	277	180	
		22年	232	197	
	5ヶ年平均		295	190	
	23年見通し		250	190	
概要	高知、埼玉、愛知、岐阜、静岡等から入荷。オリエンタル系は前半、量が少なめだが、需要も少なく業務中心に動く。後半は量も増え、一般需要もあり色物中心に価格も安定する見込み。LA系、すかしゆりは低温の影響で生育遅れ気味で堅調に推移する見込み。				
洋らん	実績	18年	363	83	
		19年	312	92	
		20年	377	92	
		21年	365	73	
		22年	324	80	
	5ヶ年平均		348	84	
	23年見通し		350	85	
概要	高知、徳島、愛知、鹿児島等から入荷。低温と日照不足により遅れていたコショウラン等の入荷も増え、全般的に潤沢な入荷となることが見込まれる。業務需要を中心に堅調となる見込み。				
ばら	実績	18年	638	95	
		19年	760	81	
		20年	742	94	
		21年	763	79	
		22年	748	86	
	5ヶ年平均		730	87	
	23年見通し		750	90	
概要	愛知、三重、岐阜、和歌山等を中心に入荷。低温により入荷量は減少している。販売環境は苦しいが、プライダル等の業務需要を中心に強めの市況となる見込み。白系については今年も高単価が予想され、販売戦略が必要とされる。				
枝も	実績	18年	1,777	43	
		19年	1,644	45	
		20年	1,822	44	
		21年	1,514	40	
		22年	1,367	46	
	5ヶ年平均		1,625	44	
	23年見通し		1,500	45	
概要	長野、静岡を中心に促成物が入荷。特に節句用の花桃は上旬から出荷が始まり、下旬に出荷のピークを迎える。それ以外の花材ではコデマリ、桜、ユキヤナギを中心として、堅調な動きとなる見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	18年	26,702	216	
		19年	19,938	249	
		20年	15,939	193	
		21年	14,227	197	
		22年	13,857	218	
	5ヶ年平均		18,133	216	
	23年見通し		11,000	220	
概要	<p>入荷量は減少か。夏の猛暑のため、生産量が減少。単価は相対取引が中心となり、中値から高値安定か。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位静岡(42%)、2位新潟(36%)、3位愛知(12%)となっている。</p>				
プ ラ ム	実 績	18年	454,623	90	
		19年	452,970	99	
		20年	334,570	84	
		21年	364,342	93	
		22年	314,227	87	
	5ヶ年平均		384,146	91	
	23年見通し		300,000	80	
概要	<p>入荷量は減少か。ポット苗から小鉢等、外売市場商品が主体となる。単価は厳しい状況が予想される。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(41%)、2位奈良(14%)、3位埼玉(11%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	18年	68,579	240	
		19年	82,034	179	
		20年	98,621	146	
		21年	72,720	152	
		22年	71,483	156	
	5ヶ年平均		78,687	172	
	23年見通し		68,000	180	
概要	<p>入荷量は減少か。鉢物全体の品薄感から、単価は相対取引が中心となり、中値から高値安定か。 昨年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(46%)、2位埼玉(37%)、3位新潟(11%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	18年	79,839	277	
		19年	100,165	242	
		20年	72,994	248	
		21年	69,462	237	
		22年	65,202	273	
	5ヶ年平均		77,532	255	
	23年見通し		65,000	240	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。下旬からの卒業式等の需要が始まるので、良品の入荷を期待したい。単価は昨年同様厳しいことが予想される。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(23%)、2位埼玉(22%)、3位三重(13%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	18年	68,003	146	
		19年	76,952	173	
		20年	53,881	154	
		21年	65,335	134	
		22年	65,220	164	
	5ヶ年平均		65,878	155	
	23年見通し		65,000	130	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ただし、関東ものは減少か。単価は5~6号鉢が昨年未より厳しい動きとなっており、引き続き厳しいと予想。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(44%)、2位静岡(22%)、3位岐阜(20%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	18年	46,477	841	
		19年	50,411	782	
		20年	47,273	733	
		21年	42,917	733	
		22年	35,521	813	
	5ヶ年平均		44,520	780	
	23年見通し		38,000	700	
概要	<p>入荷量は昨年未に入荷しなかったものと、本来2月に入荷するものが重なり増加か。夏の猛暑で着花輪数に影響が出るかも。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(55%)、2位高知(12%)、3位岡山(8%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	1 1 月						1 1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	71,131	165.4	6,878,754	149.9	97	90.6	661,571	133	67,482,879	129	102	97.9
トマト	233	74.4	77,651	81.4	333	109.4	2,781	130	976,103	170	351	129.0
たまねぎ	41,169	213.2	1,611,293	220.3	39	103.3	294,093	157	12,388,577	175	42	111.0
にんにく	1,417	97.7	319,081	147.9	225	151.5	17,058	94	3,219,664	177	189	180.7
ねぎ	4,621	151.8	459,037	185.5	99	122.2	44,594	152	4,250,117	143	95	94.7
ブロッコリー	1,879	188.8	302,253	186.0	161	98.5	34,790	122	5,855,827	126	168	103.5
結球キャベツ	2,735	7442.2	95,904	7635.7	35	102.6	19,103	149	702,447	152	37	102.1
にんじん・かぶ	5,643	174.5	241,987	205.1	43	117.5	59,195	148	2,503,899	122	42	83.5
ごぼう	3,067	106.8	264,637	201.6	86	188.8	32,907	98	1,934,099	133	59	134.6
えんどう	32	24.4	13,626	46.4	420	190.0	1,707	199	472,692	262	277	124.2
アスパラガス	1,521	120.7	867,008	115.1	570	95.3	11,540	118	5,913,988	111	512	92.3
まつたけ	255	234.8	695,248	147.9	2,730	63.0	2,027	129	6,258,175	100	3,088	77.5
しいたけ	712	136.9	186,775	158.6	262	115.9	4,784	125	1,219,747	137	255	108.8
かぼちゃ	3,436	54.0	241,376	58.1	70	107.4	86,397	98	5,829,878	112	67	111.2
果実(生鮮・乾燥)	148,823	114.1	16,019,260	112.0	108	98.2	1,761,536	95	205,658,043	98	117	104.6
バナナ	94,475	107.5	4,901,454	92.6	52	86.1	1,030,658	88	69,714,137	80	68	91.8
パイナップル	11,590	115.7	716,651	128.3	62	110.9	128,164	98	8,076,896	97	63	100.5
レモン	4,938	125.6	719,398	128.9	146	102.7	46,845	96	5,999,367	107	128	110.7
オレンジ	4,891	275.4	551,523	286.6	113	104.0	108,354	118	10,836,676	122	100	102.7
グレープフルーツ	10,859	120.1	1,197,545	118.2	110	98.4	162,550	97	15,052,784	102	93	104.7
メロン	1,798	115.8	166,495	103.5	93	89.4	27,686	100	2,720,917	94	98	93.3
ぶどう	2,205	228.3	528,531	217.0	240	95.0	11,365	166	2,163,706	178	190	102.9
キウイ	1,255	119.1	607,823	73.3	484	61.5	62,669	107	20,964,137	107	335	99.6
いちご	582	175.3	496,219	152.4	853	86.9	3,194	108	2,610,058	99	817	91.9
切花(生鮮・乾燥)	3,652	121.0	2,699,667	120.6	739	99.7	38,588	114	28,499,125	113	739	100.5
鳥獣肉類	158,212	133.8	64,048,910	128.1	405	95.8	1,610,046	110	680,246,862	109	423	99.2
牛肉(くず肉含む)	51,129	149.9	18,907,920	134.3	370	89.6	454,339	103	182,275,962	107	401	103.7
豚肉(くず肉含む)	60,681	116.0	31,789,893	115.9	524	100.0	693,141	108	363,522,397	108	524	100.1
鶏肉	39,068	152.5	8,770,517	180.3	224	118.2	386,827	129	87,663,714	123	227	97.3
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	197,659	131.0	93,825,252	118.5	475	90.5	1,642,606	143	846,060,521	101	515	98.8
まぐろ類	18,362	136.3	10,478,947	95.9	571	70.4	198,679	104	149,233,710	90	751	86.9
さば・さんま・あじ・いわし	34,630	286.7	6,912,563	310.9	200	108.4	105,521	115	18,582,436	119	176	102.1

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	3,358	65.3	1,044,856	81.0	311	124.1	22,690	98	7,532,400	107	332	112.5
うんしゅうみかん	893	64.3	93,185	64.4	104	100.2	2,059	85	292,129	92	142	105.7
りんご	2,169	62.2	796,284	77.9	367	125.3	17,003	106	5,035,889	119	296	114.4
なし	32	61.5	15,564	72.5	493	117.8	655	39	333,276	50	509	126.2
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	219,299	144.6	-	-	-	-	2,535,786	94	-	-
緑茶	189	115.7	359,024	124.7	1,901	107.8	2,006	113	3,852,700	124	1,921	109.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年 7月	99.2	107.8	100.4	104.0	102.2
	8月	99.5	114.3	114.0	103.6	103.3
	9月	99.8	123.2	122.8	103.4	104.2
	10月	100.2	127.5	121.8	103.4	101.7
	11月	99.9	121.1	110.0	103.6	101.8
愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
	22年 7月	99.1	101.8	98.4	100.1	97.5
	8月	99.6	109.7	111.3	98.8	99.0
	9月	99.7	116.7	114.8	100.7	102.1
	10月	99.8	118.7	109.9	100.2	97.0
	11月	99.6	113.8	104.5	103.1	96.6

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年 7月	99.1	97.1	105.8	132.3	101.0
	8月	98.6	96.4	102.8	121.5	99.2
	9月	106.3	93.0	129.3	119.3	100.6
	10月	103.3	89.8	128.6	114.0	100.0
	11月	110.2	87.7	139.2	154.8	99.5

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年 7月	1,982	155	176	717	309	382	168	391	217	469	524	175	560
8月	1,937	168	194	745	496	377	183	442	218	473	592	139	-
9月	1,941	140	245	791	485	322	175	428	226	536	846	166	-
10月	1,895	176	209	845	711	311	179	379	238	567	882	172	-
11月	1,845	281	210	795	480	358	193	383	261	665	761	167	492
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年 7月	-	285	349	-	215	769	569	144	176	288	212	731	420
8月	-	284	381	-	219	721	569	157	186	289	209	724	409
9月	906	291	365	-	234	735	563	154	178	288	215	742	412
10月	547	321	402	-	220	762	559	155	167	296	225	723	403
11月	504	317	376	-	202	729	556	154	167	297	230	820	408

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 452
平成23年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417